Dental.Comm vol.13-4

2018年1月
泰月号

東京歯科大学千葉病院医療連携NEWS
デンタルドットコム

千葉病院長　一戸　達也

新年明けましておめでとうございます。

日頃から千葉病院の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。今から36年前の1982年1月に開院したこの千葉病院は、本年4月に大変貌を遂げることになりました。4月からの1年間は有床診療所となり、来年4月からは無床診療所となることが昨年11月の法人理事会で決定されました。名称は「東京歯科大学千葉歯科医療センター」となります。

病院から診療所に変わっても、地域歯科医師会との医療連携を踏まえ、口腔外科小手術や摂食嚥下リハビリテーションなどの高次歯科医療機関として役割につきましては、引き続き診療体制を維持すべく、本学市川総合病院および水道橋病院とも連携しながら体制を整えてまいります。

また、行政および県民からのニーズが高い障害者歯科医療につきましても、診療体制を維持できるように努力してまいりたいと考えております。地域包括ケアシステムにおける医療連携の中で、新しい歯科医療機関としての果たすべき役割を考え、実践してまいります。

千葉病院は平成30年3月31日をもちまして36年あまりの歴史を閉じます。しかしその後も、規模こそ縮小いたしますが、地域医療に貢献してまいりたいと考えております。引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

この一年が先生方にとって素晴らしい年となりますようお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

副病院長　医療連携委員長　柴原　孝彦

新年明けましておめでとうございます。

平素本学千葉病院との病診連携にご尽力いただき誠にありがとうございます。
ご紹介いただいた患者様を通して先生方と共に歯科界の重要性が社会にアピールできることを喜びに感じています。本年も地域医療水準の確保・維持に貢献したいと考えていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

大学学務の都市回帰の一環として学部学生の水道橋校舎への移動が行われ早4年が経過しました。昨年の年間紹介患者総数が過去最高だったにも拘わらず、千葉病院スタッフ数も若干減少し、対応でご迷惑をお掛けしていることも多かったと思います。患者第一に考え、安全で良質な医療の提供を最大の目標として、今後も職員一丸となって対応いたしますのでご寛容下さいますよう御願いいたします。

昨年のイベントとして、恒例の医療連携講演会に多くのご聴講をいただき例年になく活気ある会ができましたこと、改めて御礼申し上げます。今年はより一層の企画を行いますのでご期待ください。

今年も病院スタッフまとまって連携を重視した紹介のし易い環境に努めます。学生のいない分、迅速かつ的確な医療情報が提供できるものと考えます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

東京歯科大学千葉病院　医療連携室　発行　TEL　043-270-3279　／　FAX　043-270-3648
URL: http://www.tdc.ac.jp/ch/tabid/300/Default.aspx　東京歯科 千葉　検索
バックナンバーはホームページからもご覧になれます。

医療連携委員より

◎医療連携について、シリーズで掲載します。

口腔インプラント科から　　口腔インプラント科　助教　小笠原 龍一

平素より東京歯科大学千葉病院口腔インプラント科へ患者様をご紹介していただき誠に有難うございます。今号では、口腔インプラント科のシステムについてご紹介させていただきます。

当科の診療は完全予約制で行っているため、初診で来院される患者様は事前に口腔インプラント科の受付もしくは電話にて初回診察のご予約を取っていただく必要があります。〔口腔インプラント科受付：043−270−3653　9:00～17:30（月～金）　9:00～12:30（土：第2土曜日休診）〕

また、受診に際しては紹介状が必要となっておりますので、口腔インプラント科宛の紹介状を患者様に持参していただくようお願いします。初回診察の予約時に担当医が決定されますが、担当医の患者予約状況によっては次回予約までに多少お待たせしてしまうこともあるかと思います。ご迷惑をお掛けしてしまいますが何卒ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。

近年、インプラント治療に関するトラブルが多く報告されており、トラブルを避けるためには治療開始前の術前検査が重要となってきます。当科ではインプラント治療を開始する前に「インプラント治療のリスクファクターを明確化」するための術前検査・診査を全ての患者様に実施しております。一般的な検査以外に、全身状態を評価するための「血液・尿検査」「骨代謝マーカー検査」、局所状態の評価のための「歯周病細菌検査（唾液検査）」や「CBCT撮影」、必要に応じて「金属アレルギー検査」も実施します。インプラント治療終了後は3～4ヶ月毎の定期的なメインテナンスにより、インプラント部のクリーニングと咬合確認・調整を行っております。

当科では、単歯から多数歯欠損症例、無歯顎症例、またインプラントオーバーデンチャー等、様々な症例を手がけております。（図1）お悩みの症例などございましたら、ご紹介いただき一助となれれば幸いです。

今後も先生方との連携をさらに深めてまいりたいと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。

図1：様々な症例に対応した上部構造

●口腔がん集団検診開催予定　安房地区　3月15日(木)

専門外来への紹介の仕方

◎お問合せの多い専門外来を、シリーズでご説明します。

歯科睡眠時無呼吸外来

【歯科睡眠時無呼吸症候群外来】の設置

平成29年10月16日、千葉病院の健康・スポーツ歯科が廃止され、翌17日に「歯科睡眠時無呼吸外来」が設置されました。

日本には200-1,000万人の閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）の患者がいるといわれています。重症患者の治療法として経鼻的持続陽圧呼吸療法（CPAP）が知られていますが、CPAPを受け入れられない患者や軽症から中等症の患者には口腔内装置（OA）が適応で、その有効性も認められています。これまで本院ではOAの製作・管理を健康・スポーツ歯科が担当してきましたが、その部門を「歯科睡眠時無呼吸外来」が担当いたします。

ここでご注意いただきたい点があります。OSAの検査、診断は歯科では行うことができません。内科または耳鼻科などの専門医によるOSAの検査、診断を行い、そのデータとともに「診療情報提供書」を患者さんにお持ちいただくことが必要となります。専門医からの依頼があれば当院でOAの作製ができ、それには保険も適用されます。先生方の患者様でOSAの疑いがある方には、しかるべき専門医への受診をお勧めいただき、専門医から当院へご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。　歯科睡眠時無呼吸外来　代表　杉山哲也

口腔内装着状態

歯科睡眠時無呼吸外来(直通)
TEL 043−270−3555

医療連携協議会メンバー　【委員長】柴原孝彦　【副委員長】杉山哲也　【顧問】一戸達也　【千葉病院委員】石崎憲、色川大輔、大久保剛、小笠原龍一、神尾崇、菅沼弘春、杉山節子、野嶋邦彦、野田克幸、松本由起子、村上聡、森川貴迪、米津卓郎、和光衛　【学外委員】荒井泰子、板谷賢二、上田雄平、鷺二郎、砂川稔、髙橋秀文、西田浩象、三本雅樹　(五十音順)